



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくらい内
TEL&FAX:0744-43-7773
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail:lets@some.jp

うるわし通信

平成26年10月

桜井記紀万葉歌碑原書展 ～昭和の文人が愛した神なびの郷～

日本最古の道「山の辺の道」や「伊勢街道」、「磐余の道」などの路傍にひっそりと佇んでいる歌碑をご存知でしょうか。これらは桜井市出身の文芸評論家・保田與重郎氏の呼びかけで、協力いただいたノーベル賞受賞者の川端康成氏をはじめ、芸術家、文学者、学者等日本を代表する文人墨客の揮毫による記紀万葉の歌碑達です。昭和47年から桜井市の池田元市長をはじめ、多くの方々のご尽力、ご協力を得て、現在桜井市内には60数基が建立されています。

今回、桜井記紀万葉プロジェクト推進協議会と奈良21世紀フォーラムが共同で、桜井記紀万葉歌碑原書展実行委員会を立ち上げ、今まで外部ではほとんど公開されることがない揮毫文の原書を展示することになりました。展示は11月26日から30日まで、あべのハルカス近鉄百貨店アート館で開催されます。うるわしの桜井をつくる会も桜井市、桜井市観光協会、奈良21世紀フォーラムで構成された事務局に入り、展覧会の成功をめざし頑張っています。9月18日には松井市長による記者発表も開催され、新聞各社の取材を受け大きな反響を呼びました。

今回一番苦労したことは展示と図録作成にあたり、著作権をクリアーにするため、揮毫者の許諾を得ることでした。揮毫をいただいた方々のうち千玄室氏を除き、ほとんど鬼籍に入っておられるので、それぞれのご家族を探し出し、了解をえる作業が延々と続きました。今回の展示ではそれぞれの揮毫文の原書はデジタル処理をし、著作権もクリアーできましたので、今後の活用もスムーズに進めることが可能となりました。

会場に足を運んでいただいた方々には、ぜひ現地を訪ねていただき、歌碑に書き込まれた思いに触れ、ふるさと桜井の原風景の中に佇む歌碑達を確かめていただきたいと思います。原書展では市民の皆様方からも事業へのご理解を得、過分の寄付をいただきました。できるだけ多くの方々にご来場いただくことをめざし、PR活動にも取り組んでいます。皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。

(うるわしの桜井をつくる会 事務局長 高瀬安男)

桜井記紀万葉歌碑原書展特別優待券

～昭和の文人が愛した神なびの郷～

20%割引(1枚で2名様までご利用できます)

期 間 平成26年11月26日(水)～30日(日)各日午前10時～午後8時
※最終日は午後5時閉館 入館は各日閉館の1時間前まで
会 場 あべのハルカス近鉄本店 ウイング館8階近鉄アート館
料 金 **400円**(本券を入場券売り場でご提示ください)
発 券 一般社団法人 うるわしの桜井をつくる会

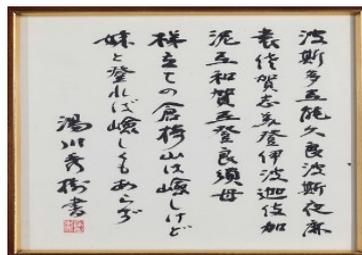


山の辺の道と歌碑 撮影:木村昭彦

桜井記紀万葉歌碑原書展

●揮毫文の原書展

桜井市が所蔵している記紀万葉歌碑の原書47、拓本17作品が展示されます。ノーベル賞受賞者の湯川秀樹氏、版画家の棟方志功氏などの原書が公開されます。



湯川秀樹 書



棟方志功 書

- ・入江泰吉「万葉写真展」併催
- ・万葉講演会
- ・図録及び関連グッズの販売
- ・「自然に生きる」保田與重郎生誕100年記念ビデオの上映

(協力：株式会社新学社)

日時 平成26年11月26日(水)～30日(日) 午前10時～午後8時
※最終日は午後5時閉館 入館は各日閉館の1時間前まで

場所 あべのハルカス近鉄本店 ウイング館8階近鉄アート館

入場料 500円(うるわし通信第40号をご提示ください。 **ご優待価格400円**で入館いただけます。)

主催 桜井記紀万葉歌碑原書展実行委員会

問合せ先 桜井市観光まちづくり課内 桜井記紀万葉歌碑原書展実行委員会事務局

☎0744-42-9111(内線341・342)

●万葉講演会の開催

原書展開催期間中5日間にわたり開催(要事前申し込み)

日時 11月26日(水)～30日(日) 午後1時30分～午後3時 (開場：午後1時～)

場所 あべのハルカス近鉄本店(ウイング館8階 近鉄アート館)

参加費 原書展の入場券(500円)が必要です。

申込み 往復はがきに聴講希望講師とテーマを記入(ハガキに1名のみ記入)し、下記宛てに送付して下さい。先着80名の方々に参加証をお送りします。

〒633-8585 奈良県桜井市粟殿432-1 桜井市観光まちづくり課内

桜井記紀万葉歌碑原書展実行委員会事務局 万葉講演会宛 ☎0744-42-9111(内線341・342)

締切日 平成26年10月31日(金)

月日	講師	テーマ
11月26日(水)	上野 誠(奈良大学教授)	万葉集発耀の地、桜井
11月27日(木)	井上 さやか (奈良県立万葉文化館 主任研究員)	奈良時代の桜井市～万葉歌碑から～
11月28日(金)	村田 右富美(大阪府立大学教授)	入江泰吉の写真が映し出す人麻呂～巻向の歌を中心に～
11月29日(土)	坂本 信幸(高岡市万葉歴史館館長)	桜井の万葉歌 万葉の歌ここに始まる
11月30日(日)	猪熊 兼勝(京都橘大学名誉教授)	考古学から見た 大津皇子

明和の春・大和 本居宣長『菅笠日記の旅』桜井

本居宣長は明和9年(1772年)桜の花が咲く「記紀の古里」桜井にやって来ます。

その頃の桜井は、芝村藩が織田区を中心に式上郡(初瀬川上流の小夫・柳・角柄など)と山辺郡(長柄を中心とした岸田・兵庫・乙木など)を統轄していて、第7代藩主、織田輔宜(おだすけよし)の時代(1745年)に屋敷を戒重村(現在の桜井市戒重)から岩田村(現在の桜井市芝)に屋敷替えをしています。

この事から、財政は逼迫し幕府の天領地を預る「預り地」を抱える事で打開を図ります。その所領は9倍にも及び、大和国では郡山藩(15万石)に次ぐ藩になっていました。しかし、その預り地に於いて年貢軽減を求める大騒動(芝村騒動:1753年)が発生します。

耳成山周辺の9箇村(葛本・常盤・吉備など)では、大雨による河川の洪水で大きな被害を受け、芝村役所にご容赦(年貢の軽減)を願いますが聞き入れられず、さらに南都奉行所に申し出ましたが同じく受入れられなかった事より京都町奉行所へ箱控訴を行いました。

この事が大騒動になって行きます。幕府では加わった者全員(221人)を江戸勘定奉行所に呼び出し裁定を下します。「稲狩りの拒否(ストライク)を行った事・徒党強訴・預り地の藩替えの訴え」があった事により死罪1人・遠島4人・追放32人に裁定が下りました。結果、年貢は軽減されました。各村では犠牲者を篤く葬り、義民位牌を設け今も5月8日(裁定が下った日)に法要を行い吊っています。

芝村騒動もようやく落ち着きをみせはじめた頃に宣長が化粧坂(けはいさか)を越え桜井にやって来ます。長谷谷を挟んで見える大和を「あざあざと見えたり」とその時の感動を菅笠日記に記しています。その後、長谷寺・出雲・黒崎・脇本・慈恩寺を経て談山神社に向かいました。帰路には安倍・戒重・吉備・大神神社・大御輪寺(現 若宮社)・金屋を経て松坂に戻っていきます。

(うるわしの桜井をつくる会 常任理事 藤井義晴)

●講演会

日時 平成26年11月8日(土)

開場 午後1:00~ 開演 午後1:30~

場所 桜井市立図書館研修室1

演題 明和の春・大和 本居宣長『菅笠日記の旅』桜井

講師 本居宣長記念館館長 吉田 悦之 さん

参加無料



●記念ハイキング

日時 平成26年11月9日(日) 小雨決行

受付 午後1:00~ スタート 午後1:30~

集合場所 長谷寺駅前広場 参加無料

周遊ルート 長谷寺駅~化粧坂~長谷寺~

出雲・黒崎~脇本~慈恩寺~朝倉駅

問い合わせ先 藤井 義晴 ☎ 090-9163-3084

*当時の風情に思いを馳せながら巡ります。



化粧坂から長谷谷を挟んで望む奈良盆地



事務局だより

- うるわしの桜井をつくる会事務局の電話番号が変更になりました。
新しい番号は 0744-43-7773 (FAX兼用) です。よろしくお願いします。
- 常任理事会は12月6日(土)午後1時30分より「市民活動交流拠点」(まほろばセンター第1研修室)で行います。

お知らせ

- 歴史部会の開催 ～警余・安倍を楽しむ～
日 時 10月25日(土) 午後1時30分から
場 所 まほろばセンター市民活動交流拠点
講 師 雑賀(サガ) 耕三郎 先生(NHK文化センター講師)
資料代 200円
問い合わせ先 藤井 義晴 ☎ 090-9163-3084
脚光を浴びる纏向・箸墓の蔭にかくれるようにひっそりと
ねむる安倍地区の歴史を学びます、ここにも古代から近世
に至る貴重な歴史が埋まっています。今回はNHK講師の
雑賀さんと解りやすく歴史を語り合います。
- 図書館友の会
10月の読書会は、「手紙：東野圭吾著」を読みます。
強盗殺人犯の弟というレットル、正々堂々と生きるという
意味は何かを問う作品です。2006年に映画化されています。
日 時 10月28日(火) 午後1時30分から
場 所 まほろばセンター市民活動交流拠点
問い合わせ先 浅川 肇 ☎ 090-1961-6345
友の会会員以外の参加も歓迎します。



うるわしの桜井をつくる会 会員募集中

どなたでも(市外の方も)入会できます。くわしくは事務局まで☎0744-43-7773

年会費 個人 ¥2,000 法人 ¥20,000

後記 最近、図書館でビブリオバトルという書評合戦が行われています。自由参加型なので、いろんな方が参加されていますが、特に高校生が数人、それぞれ個性的な角度から良書を推薦されるのがとても新鮮です。読書は本と自己が直接に向き合う作業で、同じ本を読んでも、それぞれ感動する箇所や受け止め方が異なるものです。

私は元来、政治にはうとい人間ですが集団的自衛権にしる、原発問題にしる、一つの政党の党首が発言すると、これに属する議員、中央も地方も同一ということに不自然さを感じます。

亡くなられた芝房治さんは政治に精通されておられたが、身近にこんなことを嘆く相手がいなくなり、さびしいことです。(あさ)

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL090-1961-6345